

おもいやい通信

発行:社会福祉法人 清水保育園
幼保連携型認定こども園 清水こども園
発行日:令和元年 12月1日

第34号



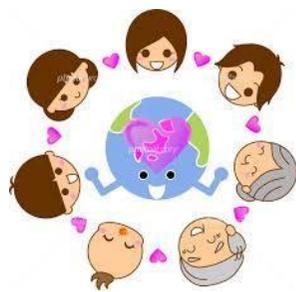
朝晩の冷え込みが冬の気配を感じさせる季節となりましたが、園庭やグラウンドには子どもたちの歓声が響いています。子どもたちにもたくさん友だちができ、時にはトラブルになることもありますが、毎日元気に園での生活を楽んでいます。

今年度も保護者の皆様と連携して「思いやり保育」を推進してきましたが、その目的の一つとして、親子の絆を深めてほしいという願いがあります。

親子の絆は、乳幼児期にしっかりと伸ばしてあげなくてはいけない、子どもの共感力、意欲、自己抑制力、対人スキルなどの「非認知能力」を伸ばすためにとても大切です。

幸せの土台は家族だけでは築けない時代です。園の思いやり3原則「**てつだう はげます ありがとう**」と家庭が一心同体となって取り組むことが、家族の幸せへの近道だと思います。

もっと思いやりにあふれた温かい家庭とこども園になるよう協力していきましょう。



<心を込める・心を送る活動展開>

「おもいやい千羽鶴」

現在685羽

ありがとう



思いやり千羽鶴の提出、ありがとうございます。思いやり千羽鶴の活動も8ヶ月が過ぎ、子どもたちをはじめ、保護者の皆さん、地域の皆さん、園の取引先の皆さん等、多くの方々の協力により、鶴は現在700羽集まっています。今年度も残りあと4ヶ月です。千羽鶴の完成目指して、思いやり活動を実践していきましょう。完成した千羽鶴を卒園式で飾りたいと思いますので引き続きご理解とご協力をお願いします。

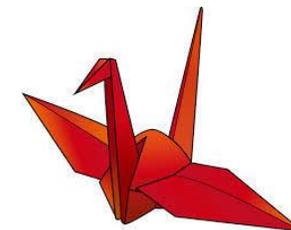
ご家庭へのお願い

思いやり集会が行われる週(6・9・2月)を思いやり週間とし、鶴の提出を呼びかけます。折り紙を使用し、基本、思いやり集会当日に子どもたちが折れるところまで折り、夕方、個人の専用の袋に入れて保護者へ渡します。保護者が続きを折り進め鶴を完成させ、羽の部分に心を込めた思いやりメッセージを記入して1週間の間に提出していただきたいです。

みんなの力を結集し、心のコモった千羽鶴を!

思いやり集会で心も笑顔になりました

令和元年9月11日(水)に今年度2度目の思いやり集会を行いました。今回は、思いやりテーマソング「おもいやりのうた」の合唱の後、園長先生の話、各クラスから思いやり行動の発表、最後に園長先生が思いやり大型絵本「どうぞのいす」の読み聞かせを行いました。みんな大喜びでした。これからも思いやり三原則「手伝う、励ます、ありがとう」が自然に行えるよう思いやり保育に取り組んでいきますので、ご家庭でもご協力をお願いいたします。



集まった鶴は、清風の道に飾っていきます
出来上がった鶴は現在685羽です

思いやりの心を育むポイント

1. 相手の気持ちを一緒に考える

人を思いやるには、「相手がどのような気持ちか」を考える力、共感できる力が必要です。

★自分の気持ちを客観視できるような声掛け

「あの時はどんな気持ちだった？」

「どうして譲ってあげられなかったのかな」

★他者の気持ちを想像させる声掛け

「あの子はどんな気持ちだったと思う？」

「こんなことを言われてあの子はどう思ったかな？」

など、こうしたコミュニケーションが相手の気持ちを感じ取る活動になります。



2. 遊びが思いやりを育てる

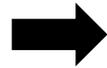
・働くパパ

・赤ちゃんを育てるママ

・先生

・ヒーロー

◎他人の気持ちを考えなければ演じられません。



「ごっこ遊び」



★絵本を読む…登場人物の気持ちに寄り添うことを覚える

・「こういうことをしてはダメ」ということを知る

3. ものを大切にすることを教える

人だけでなく、動物、食べ物、草花、すべてのものに「感謝」の気持ちを持たせることも大切です。

★「いただきます」「ごちそうさま」…食事に感謝をする

★自分より小さな動物を大切に扱う

◎ものを大切にすれば、他人の大切なものや、他人の気持ちも大切に扱うようになります。



今年度の取り組み紹介「思いやりボード」

日常生活の中で行われている思いやり行動について、各クラス等から、全体や各クラスに伝えたい思いやりメッセージを自由に貼りだし、メッセージカードが集まったら園内放送で全員に伝えています。思いやりメッセージをきいて皆気持ちが温かくなります。



一部を紹介します

- ◆ くま組さんへ…やさしく手をつないでくれたり、一緒に遊んでくれてありがとう。楽しかったよ。また遊ぼうね。(りす組より)
- ◆ ぞう組さんへ…パラバルーンをやさしく教えてくれてありがとう。(くま組より)
- ◆ みんなへ…10月の誕生会の後、「おもしろかったよ」「すごかった！」と声を掛けてくれて、とてもうれしい気持ちになりました。(大迫先生より)
- ◆ うさぎ組さんへ…ひよこ組に遊びに来た時、ひよこのお友だちと一緒に座って待ってくれました。やさしいうさぎ組さんありがとう。(高須先生より)

<おもいやりテーマ>

年間を通して実践していきましょう

思いやり3原則(手伝う・励ます・ありがとう)

①手伝う(他の人のために喜んで手伝おう)

②励ます(元気づけよう、応援しよう、優しい心を送ろう)

③ありがとう(感謝の心でありがとうを伝えよう)